

JICAの研修員が深層崩壊の現場を視察しました

～日本における災害対策を学び、自国での防災体制の構築を推進～

- 11月6日(木)にJICA（独立行政法人 国際協力機構）が実施する研修の一環として、各国の公共インフラの整備・管理を担う技術者が紀伊山系砂防事務所の現場を視察しました。
- 平成23年台風第12号で発生した河道閉塞で対策を行った赤谷地区の工事概要や自動化施工などについて、事務所職員が説明し、日本での大規模崩壊地での対策事例を学んでいただきました。

赤谷地区での研修風景



今回、研修に参加した方の出身は・・・

コンゴ民主共和国、ヨルダン、マレーシア、モーリシャス、ナイジェリア、パキスタン、南アフリカ、南スーダン、東ティモール、トルコ

崩壊地の幅や高さから大まかな規模を推定したり、崩壊地の地形データ差分などから求めることができます！

の10か国です。



視察を終えて皆様と記念撮影！



現場視察を終えた研修員の感想

- 貴重な現場を見せていただき感謝。
- 大きな台風による災害を契機に工事が進められてきた経緯をご説明いただき、とても参考になった。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)